

将来の理想の企業

早瀬 広希

僕は、現在岐阜高専の2年生で、建築設計課に在籍しています。

小学3年から野球をして現在も続けて、一応甲子園を目指して毎日遅くまで練習にはげ
んでいます。小さい頃から父親の野球をしている姿を見て自然に野球をしており、父親
が監督をしていたため、土日はほぼ父親と過ごしていました。

父親は12年前に仕事を変り、正直当時は非常に小さいながらも心配していましたが、仕
事ぶり、普通の生活ができて、小遣いももらえていることで心配度が少なくなり、最近で
は、課長、次長への昇進試験のレポートも家のパソコンでつくっているのをみせてもらい
安心しています。

友達の親のなかには、職を失い母親のパートのみの生活をしている話を聞く中で、幸
せと安心を感じています。

そこで、僕も2年後には、大学転入か就職の選択をしなければいけないのですが、現在
思っている就職したいと思う理想の会社（企業）を自分の思いで述べてみます。

西濃地区では、西濃運輸・揖斐電・太平洋工業が人気であり、大きな会社で誰もが言っ
ています。でも僕は小さくても、人気がなくとも高専で習得したことが生かせる会社が自
分にとっては、理想の会社の第1条件です。次に僕が就職して定年になるには40年後
であり、やはり安定した安心のできる会社が第2の条件です、リーマンショック後有名な

大企業が破綻しているなかで、高い給料でなくても安定性を求めます、しかしながら正直少しでも高い給料が欲しいです。

第3の条件としては、環境問題に投資をしている会社です。世界的にも大きな問題となっているCO2削減については、高専でもその内容等は学んでいる為、興味があり会社として義務づけられていることであり、環境に対応している会社でないと10年後は、不安とおもいます。

第4の条件としては、社員の福祉、健康、家族等について目を向けている会社です。父親の給料明細の中の社長さんからの手紙をたまに読みますが、非常に会社の状況や、世間の情報などが詳しく書かれており、将来の安心を感じることもあります。

最低でもこの4条件を満たしている会社を理想とし今後の就職活動に生かしていきたいと思えます。

これまでは、非常に現実的な考えで理想をかいてきましたが、最後に父親の働く会社の10年後のこうなってほしい姿と僕自身の10年後の理想(夢)をのべます。

まず、マツバラには、父親の書いた昇進レポートが現実となれば満足です、現実となるように頑張ってもらいたいです。また、大きなビルを建てて、上場企業になってほしいと思います。その先(20年後)の理想は、僕や兄が親の面倒を見なくてもいい老後の生活が人並みにできるぐらいのサポートができる会社でいてほしいと思います。(決して親の面倒を見たくないといっているのではありません)(笑)

次に僕は、10年後には27歳になっておりますが、30歳までには、自分の設計した家を巧みの技ではないですが、様々なアイデア、自分自身ならではの考えを取り入れたマイホームを親の近くに建てるのが夢です。20年後にはファミリーをつくり父親と同じ様に長く野球に携わっていき、少なくとも父親より多く稼いでいきたいです。

30年後には、建築設計インテリアデザイナーなんてカッコ良くななくてもいいですが、有名になりテレビ出演など依頼される建築設計士になるのが夢です。

最後になりますが、この夢や希望は健康でなくてはかなえられないことが多く、健康でいられる環境の中で生活をしていきたいと思っております。

以 上

平成22年4月24日